

港湾の強靱化>>>

○近年の港湾を取り巻く課題

- ・年々強大化する台風など、**甚大化・頻発化する自然災害**
- ・気候変動に伴う**平均海面の上昇**など

- ・波高の増大による**港湾施設の被災**の恐れ
- ・高潮被害や**地震被害**の発生の恐れ

施設が被災すると、、、
人流や物流、地域産業に支障をきたし
県民生活や地域経済に甚大な影響

○港湾整備の必要性

人流や物流、産業の拠点として県民生活や地域経済を支える重要な役割を担う港湾において、**安定的かつ継続的な暮らしや産業活動の確保**のため、**防波堤の機能強化**や**施設の耐震性強化**などの整備を進める必要がある。

今後の整備の考え方

以下の**港湾の強靱化を推進**

- ①定期航路を有し、海上輸送の拠点となる港湾
- ②水産業の流通・生産拠点となる港湾

40港程度を選定

整備例>>>

港湾の強靱化 ～第一線防波堤の改良～

(目的) **大型化する台風**や**高潮**(海面の変動含)等に対応するため、**改良により耐波浪性能を確保**

改良前

想定外の高波浪により、防波堤が**転倒**する恐れ
→防波堤が機能を逸した場合、離島の人流・物流を担うフェリーや貨物船の運航や、地域産業に支障をきたし、**住民生活に多大な影響を及ぼす恐れ**がある。

潮位上昇→波高の増大

改良後

断面の改良等により、**耐波浪性能を向上**
→**安定的・継続的な海上輸送網の確保**や**地域産業の維持**

消波ブロック嵩上げ
→耐波浪性能の強化

断面拡幅・天端嵩上げ
→重量増による安定化
→越波の軽減

基礎拡幅
→防波堤の転倒防止

